

# いやいや期のかかわり方



何をするにもいやいや尽くしの時期。「いやいや期」だからしょうがない」と分かっている人も「どうしたら いいの?!」と思っている人もいることでしょう。

2歳前後になると歩けるようになり、身の回りのことができるようになり、「なんでも自分でできるもん!」と子どもは自信に満ち溢れています。



そんな気持ちを大切にしながら、こんな声かけを試してみるのもいいですね。



**ヒント1**「そうだね、〇〇したかったんだよね」とお子さんの気持ちに共感する

➡「あっ!お母さん、わかってくれた(うれしい!)」

**ヒント2**「じゃあ、●●と△△のどちらがいいか決めてくれるかな?」と二者択一を提案する

➡「お母さんはボクに決めさせてくれた(ボクを認めてくれた!)」

**ヒント3**「◆◆が終わったら、□□しようね」と次にあるお楽しみを予告する

➡「ちょっとだけやってみようかな(次への期待感)」



そして、気分が前向きに変わったところで「ありがとう」「うれしい」「できたね」など声をかけて“ぎゅーっ”と抱きしめると、大人も子どもも笑顔になれますね。

もちろん、うまくいく時ばかりではないと思いますが、「そんなこともあるよね」と肩の力を抜くことも大事です。

